

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4年次生 矢野 敦子

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2017年8月5日から8月25日の3週間、語学留学としてオーストラリアのゴールドコーストを訪問したことを報告いたします。滞在中は、ホームステイをしながら Southport に位置する Inforum Education Australia という語学学校で英語を学びました。スピーキング力の向上を目指すとともに異文化を楽しみ、様々な国籍の人々との交流を通じて自身の視野を広げることを目標に、今回の語学留学に取り組みました。

2. 語学学校

この語学学校では一般英語コースのクラスが8つのレベルに分かれており、初日に行われる reading, writing, speaking のテストによって個人のレベルに合ったクラスに振り分けられます。アジア圏やヨーロッパ、南米からの留学生がここには多く通っており、私のクラスは15人ほどで、日本・韓国・台湾・ニューカレドニア・ハンガリー・アルゼンチン・アラブ首長国連邦といった様々な国籍の幅広い年齢の生徒が一緒に授業を受けていました。授業は週4日、8時40分から14時40分までで、午前中は主に文法・午後は speaking を中心に学習しました。文法の授業では周りの生徒と意見を交わしながら問題を解き、会話の中で使える構文を身につけました。また、授業中に出てきたたくさんの単語をただ覚えるだけでなく、相手に単語の意味を別の英語の言い回しでわかりやすく伝える練習を行いました。speaking ではペアやグループを組み、あるテーマに関するプレゼンテーションを行ったり、様々な場面での会話を練習してクラスで発表したりと、実践的なことを学ぶことができました。私は授業内でディスカッションを行う際に意見を言おうとしても、自分のボキャブラリーが少ないため上手く伝えることができず、何度も悔しい思いをしました。そのため、せめてその日学校で学んだことはしっかりその日にマスターしようと思い、毎日学校が終わった後も、友達やホストファミリーとアウトプットを意識した会話をするなど、真剣に英語の勉強に取り組みました。そのおかげか最初は授業の内容を理解し、自分の意見を伝える事だけで精一杯だったのが、最終週にはクラスメートと冗談を交えながら楽しくディスカッションや発表を行うことができるようになっていました。この学校で学んだことは、英語はもちろんですが、その他にも勉強になることがとても多く、私自身にとって貴重な経験となったと思います。



写真1:Inforum Education



写真2:クラスメート

3. ホームステイの生活について

私が滞在したホームステイ先は、ザンビア出身のホストマザーと8歳の娘さんがいるご家庭でした。何度か留学生を受け入れた経験のあるご家庭で、とても親日的だったため、不自由なく快適に3週間を過ごすことができました。朝食はホストファミリーと家を出る時間が異なるため自分で用意し、昼食もスーパーで好きな食材を買って家でサンドイッチなどを作って学校に持って行きます。夕食はホストマザーを少し手伝いながら作り、みんなでその日の出来事を話したり、ホストファミリーが好きなテレビ番組を一緒に見たりしながら食べていました。また、ご近所さんがいきなり訪ねてきて一緒に夕食を食べ始めることが時々あり、近隣住民とのフレンドリーな関係に驚いたと同時に新鮮に感じ、日本との文化の違いを実感しました。休日は、ホストファミリーに野生のカンガルーやコアラを間近で見ることができる Coombabah 自然保護地区という場所に連れて行ってもらい、ピザやチップスをテイクアウトして、家の近くののどかな公園でピクニックをして楽しく過ごしました。ホストファミリーが何かと私のことを気にかけてくれ、様々なサポートをしてくださったおかげで、充実した生活を送ることができました。



写真3：ホストファミリー



写真4：Coomabah

4. アクティビティや観光について

私は学校のアクティビティを利用し、ラミルトン国立公園の中のビナバラという場所で行われた1泊2日のキャンプに参加しました。これには40名ほどの生徒が参加しており、普段はクラスが違うため関わることがあまりなかったたくさんの友人とも、新たに出会うことができました。自然豊かな森林の中のハイキングやキャンプファイヤーを囲んで食べた夕食、夜には伝統的なダンスを先生・生徒関係なくみんなで陽気に踊ったり、今までに見たことがないほどの満天の星空を観察したりと、日本では経験できないようなことをたくさん体験することができました。夜遅くまでキャンプファイヤーの周りに座り、音楽を聞きながら複数の友人とお喋りをして自国の言葉を教え合ったりしたこともとても良い思い出です。

また、学校の授業が週4日制であったため私のクラスでは毎週水曜日に day off がありました。day off や休日を利用し、クラスメートと海やナイトマーケットに出かけたり、ゴールドコーストの有名なテーマパークである“ドリームワールド”や“ムービーワールド”に遊びに行ったりもしました。最終週にはクラスメートに誘われ、私が人生で1度は挑戦してみたいと思っていたスカイダイビングにも参加することができました。飛んでいた時間はあっという間でしたが、とてもスリリングでした。この経験は一生忘れることはないと思います。



写真5: Binna Burra キャンプ



写真6:スカイダイビング

5. おわりに

たった3週間ではありましたが、様々な物事に触れられた留学であり、私は今回のこの留学を通して得られたものが本当にたくさんあったように思います。英語を習得するにあたり、自分の意見をしっかりと持ち、拙い英語でも口に出して伝えようと努力することの大切さも改めて実感しました。そのため、今回の一つ一つの経験や出会いをしっかりと心に留め、今後も海外の人と関わる機会を積極的に増やしていき、コミュニケーションツールである英語を使う機会をもっと多く作っていきたいと考えております。グローバル化が進む社会において今後活躍していくためにも、私自身英語は必要不可欠であると考えます。今回の短期留学を第1のステップであると考え、残りの学生生活で英語を習得し、将来に繋げられるよう日々勉学に励みたいと強く思います。

国際交流基金の助成により、とても貴重な経験をさせて頂くことができました。このような機会を与えてくださったことに感謝申し上げます。